

大町病院を守る会会報

№. 60

2018年4月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

病院祭は屋内で医療・健康を中心に

第8回病院祭は本来の目的である地域の皆さんに病院を知ってもらうという原点に立ち返ることとし、野外ステージを設けず、南棟講堂でイベントを開催、病院内では様々な企画を行い、地域の健康、医療を考え、親しむ集いとなるよう計画しています。

■日時 平成30年5月20日(日) 午前9時30分～午後3時

■場所 市立大町総合病院

■テーマ 「ふれ愛 ささえ愛 たすけ愛 ～3つの愛で
つながる地域の絆」

■イベント予定(主会場:南棟講堂)

- ・特別講演(医療講演会) 講師:関口健二先生
- ・大町病院の医師によるミニ講演会
- ・市内学校等の児童・生徒・サークル・団体等による演奏
- ・パフォーマンス発表



◎院内ブース予定(会場:院内ロビー他) 10:00～15:00

調剤体験、お薬相談、3Dで見る人体、介護予防相談、進路相談、視力測定、動脈硬化測定、おからだチェック、ハンドマッサージ・アロマセラピー、手術体験、透析機械展示、おやつ試食、子ども白衣試着、キッズゲーム、お休みどころ

◎屋外ブース予定(正面ロータリー) 10:00～15:00

- ・飲食物販コーナー(駅前本通商店街、がんばりやさん、ひまわりの家、地場の郷、移動販売車など)・大町岳陽高校書道部によるパフォーマンス
- ・キッズコーナー ボンボン釣り、ヤギとふれあいコーナー、読み聞かせ、天体観測、山野草販売など

◎講堂イベント一覧

開会式	講堂	9:30～9:50	開会セレモニー
講堂ステージ①	講堂	10:00～12:00	仁科台中学ブラスバンド
講堂ステージ②	講堂		スマイルジャズダンススタジオ
講堂ステージ③	講堂		大町岳陽高校吹奏楽部
医師ミニ講演 桑原良奈 Dr,脇田隆寛 Dr	講堂	12:30～13:20	新任医師によるミニ講演会
特別講演 講師 関口健二 Dr	講堂	13:30～15:00	演題「自分らしく生きて自分らしく 逝くために～その準備を今日から 始めよう!～」

三村先生の原画は産婦人科・皮膚科待合に

第7回病院祭のポスター原画となった三村信英先生（初期研修医）作の絵画が皮膚科・産婦人科の待合の壁に展示されました。すばらしい出来栄で、若い皆さんに人気です。売店への通路脇です。是非ご覧ください。



新入職員オリエンテーリング 守る会からも参加

4月2日、大町病院へ採用された新任職員のオリエンテーリングが行われ、守る会から北村喜男会長、高橋博久次長が参加しました。守る会の結成経過と活動内容をパワーポイントで紹介しました。また市民の大町病院を見る「目」、「声」を率直にお話しさせていただきました。



新規採用は研修医師3人を含む13人です。氏名は山内瑛子、田中夏実、高木英俊、津野尾里美、伊藤希、矢口亜美、本間なつみ、柿本涼、稲目美穂、倉科杏子、横川奈々、小寺美幸、相沢陽介の皆さんです。大町病院に早くなれ活躍できる日を楽しみに、みんなで応援しましょう。

寄稿:大町病院の人間ドックを受けてM・N

今まで職場の関係上I町の総合病院で30数年間人間ドックを受診してきました。仕事リタイア後は自宅近くの大町病院があることから今年度初めて日帰りドックを申し込みました。検査内容では胃カメラの検査で喉麻酔の仕方が簡単で驚きました。I町の総合病院ではうがいを10分間してから行います。その他の項目はあまり変わりありません。受診者が少ないという事もあってそれぞれの部署でとても親切に対応していただきました。

特に担当医師による総合診断では時間をかけて事細かに説明していただきました。受診者として納得し大変満足しました。

一方の総合病院はドック受診者が多い（JA関係）という事もあってか、時間の関係か個人個人への対応のこと細かい説明がなされない部分が随所に見られ物足りなさを感じました。ドック受診者が多いという事が要因か私の親戚で、毎年ドックを受診していたが、肺がんを見つけられずレベル4の状態になってしまった。これも細かな診断が出来ないための見落としとも取れます。その病院に対して疑心暗鬼になっているそうです。

予防医療の点からも大町病院は設備が整っている施設ですからキャパを超えない程度にドック受診者の受け入れを増やすべきだと思います。方法はまず大町地区内の企業に対してセールス（営業活動をする）かけること。ドック受診内容の充実さをアピールすることを提言します。

第9回総会は5月13日（日）午後2時開会 会員の皆さんはお集まりください

結成から9年目を迎える「病院を守る会」は少しずつ会員も増え、取り組みも前進しています。大町病院は近隣病院にない大勢の研修医・研修生が研鑽しています。耐震施設と高度の医療機器、医療スタッフは貴重な財産です。しかしこれから将来に向けて大町病院が存続していくためには地域の皆さんのさらなる支援と努力が必要です。守る会も多くの担い手、自薦・他薦による役員や事業の充実が必要です。守る会総会に結集し、皆さんの力で作り出していきたいと考えます。また欠席される方は必ず、同封の委任状を提出してください。締め切りは5月10日までです。

公開講演会は高木哲先生

総会終了後午後3時から高木哲先生（大町病院副院長・外科部長）による公開講演会を開催します。

高木先生は10年前、このままでは大町病院はなくなってしまうという危機感を持ち、市民に現状を訴え、守る会結成のきっかけを作っていただきました。講演のテーマは「この十年を振り返り、そして未来へ」です。公開ですので隣近所、友人・知人に声をかけていただき大勢の皆さんの参加をお願いします。



高所作業車でイルミネーション撤去作業



3月18日午前9時から病院駐車場にそびえるモミの木にセットされていたイルミネーションを、十日会の皆さんと守る会役員で撤去作業を行いました。12月4日に点灯式・コンサートを実施して以来3か月半に及ぶ期間、白銀の北アルプスを背景に夜空に燦然と輝き続け患者、市民、職員に癒

しと元気を送り続けました。撤去に携わった皆さんお疲れ様でした。次回もよろしくお願いします。



翁（おきな）草が咲きました

病院玄関前ロータリーと玄関前に設置されたプランターに翁草の花が咲きました。ロータリーの翁草は数年前のガーデニング計画により花壇が作られ、翁草の花が植えられ毎年の草取り作業などで手入れがされてきました。プランターは昨年秋、須沼の翁草保存会の皆さんにより植えられ、その後守る会で越冬させ、開花させたものです。寒い風の中でけな気に臙脂（えんじ）色の花を咲かせる翁草に早春を感じさせてくれています。



研修修了式、3月20日に（病院FBより掲載）



初期研修医は三村信英先生と新津文和先生の二人。家庭医療プログラム（後期研修）は鳥居旬先生。3人の先生に加え、1年間の総合診療科研修を行った3年目の頼母木先生の4人の先生が、研修を振り返っての発表をしてくれました。

皆、素晴らしい発表をしてくれて、感動！

- ・三村先生は自分がこれから何をやりたいか、何に向いているのかなかなか分からずに困ったとのこと。そうだね。その気持ちはよく分かる。みんなそうだと思うよ。まずは決めたことに一生懸命取り組んでみよう。

- ・新津先生は東京に戻るって言っていたのに、地元で整形外科医として残ることに。嬉しいねー。立派な整形外科医になって、大町病院に戻って来てくれよ。

- ・頼母木先生は皮膚科医になる予定だったのに、総合診療科で勉強している間に内科が面白くなり、4月からリウマチ膠原病内科医を目指して後期研修に入ることに。また大町に戻って来て、一緒に仕事したいね。

- ・鳥居先生は篠ノ井総合病院で初期研修を行った後に、当院の家庭医療プログラムで後期研修を修了。今後は緩和ケアの専門医の取得も目指し、当院で活躍してもらう予定。期待しているよ。

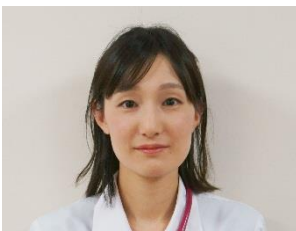
素晴らしい研修修了式でした。

医師の異動がありました よろしく

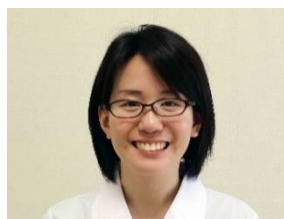
退職された医師

山岸喜代文先生、倉沢伸吾先生、五味志文先生、頼母木直樹先生、新津文和先生、三村信英先生、

着任された医師



金井絢子先生（小児科）



山内瑛子先生（後期研修）



田中夏実先生（初期研修）



高木英俊先生（初期研修）